

オオクワガタ

Dorcus hopei

兵庫県：Bランク

環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU)

種の概要

体長♂27～53mm、大あご4～20mm、♀25～40mm。全体黒色。大あごは強大、大型のものでは中央より前方に斜め上方に向かう大きい内歯があるが、小型になるにしたがい内歯は後方に移る。♀は強い光沢があり、上翅は点刻列のある縦条を走らせる。成虫は6～9月に出現し、灯火にも飛来する。樹液にくるが昼間は樹洞などに潜む。成虫で越冬する。



写真提供：森正人

国内分布

北海道、本州、四国、九州、対馬

県内分布記録

神戸市、宝塚市、川西市、猪名川町、多可町、たつの市、豊岡市、新温泉町、篠山市、丹波市



選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				○

特記事項

記録や情報が少なく、状況に変化はないが、飼育個体の存在に注意が必要。

保護上の留意点